

平成26年度

宇陀市まちづくり活動応援補助金

成果報告書



宇陀市企画財政部まちづくり支援課

平成27年4月

目 次

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要	1
補助金の額	1
審査・評価の方法	1
審査委員	1
各事業の成果 ※以下事業名（ ）内は実施団体名	
(1) 大野寺周辺の観光客誘致と地元活性化事業 (大野夢クラブ)	2
(2) ツルマンリョウ保存事業 (ツルマンリョウ保存事業委員会)	4
(3) 伊勢街道をテーマとした地域間連携事業 (紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会)	6
(4) いわはし農村レストラン (いわはし農村レストラン)	8
(5) 宇陀市の神武伝承地を探り巡る事業 榛原編 (宇陀市の神話を考える会)	10
(6) 宇陀に若い力を。 大学生インターンの受け入れと新規事業プランの立ち上げ。 (ウダカツ)	12

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要

この補助金は、市民が主役のまちづくり並びに地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的として、市内で活動する市民団体が自ら企画立案し、実施する事業に要する経費を補助することにより、市民活動の促進を図ろうとするものです。

補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関（宇陀市まちづくり活動応援補助金審査委員会）による厳正な審査を経て決定します。

補助金の額

補助金の額は、補助の対象となる経費の総額から当該事業の実施によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円を上限とします。事業が継続して必要と認められる場合は、自立・発展性の観点から2年目は40万円を上限とし、3年目は30万円を上限とします。ただし、算出した額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとします。

審査・評価の方法

①一次審査（書類審査）

補助金の対象事業として要件を満たしているか等の審査を行います。

②二次審査（公開プレゼンテーション）

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。





新規性	<ul style="list-style-type: none">・事業内容に新しい発想、アイデアがあるか。・自主性をもった企画・運営となっているか。
公益性	<ul style="list-style-type: none">・地域活動支援の目的と合致しているか。・事業の成果が広く地域に還元されるものか。・事業参加の機会が広く住民に与えられているか。・市の施策と方向性が合致しているか。・応募者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。
必要性	<ul style="list-style-type: none">・地域の実情や住民要望に対応したものか。・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効なものであるか。・ほかの方法で代替できないものであるか。・経費の使途が適切なものか。
実現性	<ul style="list-style-type: none">・目標（達成すべきこと）が明確なものか。・関係者との合意形成や応募団体等の内部での実施態勢が整っているか。・資金調達の規模や時期に無理はないか。
発展性	<ul style="list-style-type: none">・市の支援が終了した後の継続性や自立性、発展性は期待できるか。

審査委員

氏名	所属・職
村上 良雄	奈良NPOセンター 理事長
仲浦 美好	宇陀市食生活改善推進協議会 会長
辻 由加里	公募委員
東 秀好	奈良県くらし創造部協働推進課 課長
中野 理	宇陀市副市長

※審査委員会当日（H26.8.24）現在

事業報告書

事業名	大野寺周辺の観光客誘致と地元活性化事業
実施団体	大野夢クラブ
実施状況	<p>1. 9月11日 大野寺周辺草刈、清掃 参加4人 2. 9月15日 大野寺周辺清掃 参加3人 3. 10月2日 大野寺周辺清掃 参加3人 4. 10月24日 大野寺周辺草刈、清掃 参加2人 5. 11月3日 大野寺周辺清掃 参加2人 6. 11月20日～30日 磨崖仏、紅葉ライトアップ 15名 7. 12月2日 大野寺周辺清掃 参加2人 8. 12月31日～1月3日 磨崖仏ライトアップ 9. 3月20日～31日 磨崖仏、桜ライトアップ、 ぼんぼり提灯点灯、観光客おもてなし</p> <p>【事業実施の様子】</p>    
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・室生大野地域にある文化財に少し関心を持ってもらうことができました。 ・大野寺のしだれ桜、磨崖仏などの見物で年々入山者数が増加しています。おもてなしの効果があり、これからの活動が村おこしにつながると思います。
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業を継続して定着させる必要があります。

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	200,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金 500円×100件
地元協力金	50,000	
自己資金	46,780	
合 計	296,780	


【支出】

科 目	金 額	内 訳	
需用費	24,316	草刈り刃	6,000
		混合油	4,000
		インクカートリッジ代	4,980
		電気代	9,336
役務費	400	関西電力手数料	400
委託費	191,672	ぼんぼり制作費	80,000
		照明設備配線工事	64,800
使用料及び賃借料	80,320	ぼんぼり設置機材	46,872
		コピー使用料	4,720
		照明設備リース料	75,600
合 計	296,708		

事業実施団体

名称	大野夢クラブ
所在地	宇陀市室生大野1680番地
設立の経緯・目的	室生大野地域にある文化財、大野寺磨崖仏等を見直し、後世に伝え守っていくとともに、地域の振興発展を図り、村おこしにつながることを願って季節ごとに行事を行うことを目的に設立。
主な活動内容	①4月の桜開花時に磨崖仏、桜のライトアップを行う。 ②秋の紅葉時に磨崖仏の夜間ライトアップを行う。 ③名前を入れた燈籠を約一週間点灯する。 ④ぼんぼり提灯（約100個）を吊す。 ⑤夏に草刈り、清掃を行う。 ⑥ミニコンサートを実施。 ⑦交通整理看板灯の設置。

事業報告書

事業名	ツルマンリョウ保存事業
実施団体	ツルマンリョウ保存実行委員会
実施状況	<p>1月27日 ツルマンリョウ保存委員会開催 事業内容打ち合わせ</p> <p>2月 8日 ツルマンリョウ保存委員会開催 工事内容打ち合わせ</p> <p>2月15日 遊歩道及び自生地の雑木、雑草落ち葉の撤去</p> <p>2月15日～</p> <p>3月10日 遊歩道（70m）U字溝（12m）設置</p> <p>3月 4日 獣害防止ネット取り替え工事の打ち合わせ。 参加者 ウエットランド研究所所長 市文化財課職員・保存事業委員担当者 ネット施工業者</p> <p>【事業実施の様子】</p> <p>遊歩道60m設置</p> 
事業効果	<p>保存事業実施によりツルマンリョウの成長が進み、自生地が広くなりつつあり、自生地が多くなれば地域住民や観光客において一層の認識を深め遊歩道が完成すると、新しい観光名所として期待できます。</p>
特記事項	<p>入り口の石段施工、遊歩道道順看板、観光用看板及びパンフレットの作成については、次年度の事業として計画しております。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	360,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
寄付金	50,000	地域関係者寄付金
合 計	410,000	



【支出】

科 目	金 額	内 訳
事務費	5,054	プリンター用インク代
	906	光沢紙代
	800	コピー代
食糧費	11,118	作業時賄い
消耗品費	61,816	材料代
燃料費	4,840	重機燃料
リース費	167,000	建設重機、クローラ、回送費
委託費	158,466	施工請負委託料
合 計	410,000	

事業実施団体

名称	ツルマンリョウ保存事業委員会
所在地	宇陀市榛原檜牧964番地
設立の経緯・目的	当所のツルマンリョウ群生地が獣害等により特に荒れ、将来消滅する危惧を感じ、早急なる保存を鑑みて。
主な活動内容	主題のツルマンリョウ保存目的が喫緊の事業と考え、昨年はまず委員8名を選出し一期工事を完了し、今後の善後策を検討し要旨の内容となる。

事業報告書

事業名	伊勢街道をテーマとした地域間連携事業
実施団体	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成26年 9月20日(土) 内牧・赤埴・諸木野地区 草刈作業 2. 平成26年10月27日(月) 伊勢本街道意見交換会 3. 平成26年11月11日(火) 萩原・黒岩地区でと案内板設置の打合せ 4. 平成26年12月15日(月) 黒岩地区で案内板設置の打ち合わせ 5. 平成27年 1月25日(日) 三重県明和町でチラシ配布 6. 平成27年 2月 6日(金) 萩原地区の案内板設置 7. 平成27年 2月 7日(土) 三重県伊勢市でチラシ配布 8. 平成27年 3月15日(日) ノルディックウオーク体験会・歴史講演会の開催 9. 平成27年 3月16日(月) 黒岩地区の案内板設置 <p>【事業実施の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業効果	<p>伊勢本街道沿道で、まちづくり協議会と協働して草刈り作業を実施。協働を提案することで、地域の人々が街道整備に取り組むきっかけとなり、作業途中では地域の課題を聞くことができました。また、案内板については地権者の方々から協力をいただき、今年度の3基で伊勢本街道での設置計画を完了しました。</p> <p>体験会と講演会の参加者は12名と92名に留まり、参加者募集の方法に課題が残りましたが、増刷した『伊勢街道』をテキストとすることで地域の方々講演会に足を運んでくれました。</p>
特記事項	<p>案内板設置計画は初瀬街道沿いの6基を残すだけとなりました。ノルディックウオークは生涯学習課の協力を得て、普及に取り組みたいです。今後も街道整備など、地域の方々との協働を通じて、地域に根付いた活動にしたいと考えています。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	450,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
自己資金	311,609	自己資金
参加費	56,800	ウォーク・講演会
合 計	818,409	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	55,000	講師謝金・司会者謝礼など
旅費	3,000	講師、司会者旅費
消耗品費	8,537	事務用品
印刷製本費	521,748	チラシ、『伊勢街道』冊子印刷
食糧費	10,600	講師、スタッフ昼食代金
委託費	30,000	ふるまい材料費など
通信運搬費	13,408	チラシ、資料、参加票など
使用料・賃借料	17,222	ポールレンタル・会場使用料
事業費	154,319	案内板設置・参加者弁当・保険
図書購入費	4,575	
合 計	818,409	

事業実施団体

名称	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
所在地	宇陀市大宇陀上新1925番地
設立の経緯・目的	紀伊半島交流会議は「吉野・熊野の霊場と参詣道」の世界遺産登録を見据えて、平成16年3月末に歴史街道推進協議会の呼びかけで結成されました。その中で「伊勢街道分科会」は、伊勢本街道沿いの歴史や文化にふれ、そこに住む人々との交流を深めて、伊勢街道を軸としたネットワークの構築を目的として、宇陀市を中心に伊勢街道沿いで活動する人々に呼びかけて結成しました。
主な活動内容	主な活動は、古道を歩き、道標や常夜燈、宿場町等の歴史的資産の調査をし、その情報を発信するためにウォーキングイベント等を開催しています。平成19年からは風景街道「伊勢街道」連絡協議会において中心的な役割を担い、フォーラムの開催やマップの作成をはじめ、地域の団体と共に古道の復興や道標の再建など、街道の歴史的資産の保全活動を進めています。

事業報告書

事業名	いわはし農村レストラン
実施団体	いわはし農村レストラン
実施状況	<p>1. 10月15日 配食サービス (農村レストラン) 36個 2. 10月30日 里山整備 (岩端地区内) 16名 3. 11月7・8日 農村料理を楽しむ会 (岩端古民家) 120名 4. 11月19日 配食サービス (農村レストラン) 36個 5. 11月29日 イルミネーション飾りと交流会 (いわはしみんなの森公園周辺) 30名 6. 12月18日 配食サービス (農村レストラン) 37個 7. 2月1日 配食サービス (農村レストラン) 巻き寿司 65本 8. 2月3日 地元農産物を使った商品づくりと講習会 (農村レストラン) 会員7名</p> <p>【事業実施の様子】</p> 
事業効果	<p>ほんの少しの支え合いから始まったこの活動は、今や地域にとって必要な位置づけとなりました。自分たちの住む地域は、できるだけ自分たちの協力で支えていく意識もうまれてきたと思います。また、今回新しい特産品づくりの講習会を開催したことは、会員の活動に取り組む姿勢が、より前向きになりました。</p> <p>支え合う、助け合うことが今の過疎の進む地域には必要であると再認識しました。</p>
特記事項	<p>第46回近畿地域農山漁村女性の集いにおいて優良事例表彰(社会参画部門)を受賞</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	300,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
負担金	74,000	配食売上金（弁当：500円×109個、 巻き寿司：300円×65本）
雑収入	159	いわはし農村レストラン会員より
合 計	374,159	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	30,000	講師謝金
備品購入費	81,000	2層シンク
需用費	84,542	配食用弁当箱（2,576円×30個）
消耗品費	20,656	炊飯器修理、フードパック 外
食材費	94,255	配食サービス、交流会食材
食材費	7,371	特産品づくり講習会食材
食糧費	5,600	スタッフ昼食賄い
原材料費	26,000	カエデ苗木（1,000円×26本）
原材料費	15,200	有害鳥獣柵（380円×40ヶ）
燃料費	6,035	ガソリン代
事務費	3,500	コピー用紙代 外
合 計	374,159	

事業実施団体

名称	いわはし農村レストラン
所在地	宇陀市菟田野岩端140番地
設立の経緯・目的	過疎と高齢化の進む岩端地区の現実の中で、誰もが安心して暮らせる地域づくりには何が必要か話し合いを重ね、支え合い、助け合う地域づくりを目指して平成19年7月に設立しました。
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月一回、地域住民に配食サービスを行う ・年3回の交流会を開催 ・4月の桜の頃、特産品等の販売・6月末より柿の葉寿司の販売 ・県内外の人々との交流を図る ・地域の行事（鯉のぼりあげ・イルミネーション飾り等）に積極的に ・奈良県生活研究グループに参加し、他団体との交流研修会等に参加

事業報告書

事業名	宇陀市の神武伝承地を探り巡る事業
実施団体	宇陀の神話を考える会
実施状況	<p>神武伝承地現地講座 11月30日9:00～岡田 登先生と共に、宇陀市役所からバスとハイキングで、伊那佐山（伊那佐文化センター前において）～八咫鳥神社～菟田川の朝原・丹生神社～墨坂伝承地～墨坂神社～鳥見山（墨坂神社境内において）を巡り、現地の自然を体感しながら講座を開設し、理解を深めました。</p> <p style="text-align: right;">参加者40名</p> <p>【事業実施の様子】</p> 
事業効果	<p>前回の現地講座では講師への質問も少なかったが、今回は積極的に専門的な質問をされている光景が見受けられ、榛原地域における神武伝承地への関心度の高さと、参加者の意識の高さがうかがえた。</p> <p>しかしながら、主催者である「宇陀市の神話を考える会」の会員を除く参加者の平均年齢が66.8歳と高く、若い人たちの参加が非常に少ないことが気になることとなりました。</p> <p>宇陀市には数多くの歴史文化遺産や伝統文化が見受けられ、観光地としてのポテンシャルは計り知れないものがありますが、神武伝承地に関しても、その魅力を最大限に引き出し活用することで、宇陀市の活性化に繋がるものと実感できました。</p>
特記事項	

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	290,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
負担金	40,000	参加費（バス借上料一部負担） 1,000円×40名 40,000
雑入	519	宇陀市の神武伝承地を探り巡る事業費助成金
合 計	330,519	


【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	50,000	謝金 現地講座講師 50,000
需用費	140,051	消耗品費 事務用品（プリンター・インク他） 37,979 食糧費 現地講座スタッフ 800円×7名 5,600 神武伝承地現地講座講師 1,000円×1名 1,000
役務費	31,468	印刷製本費 リフレット 13,000枚 95,472 通信運搬費 郵送料 6,044 はがき50枚 2,600 手数料 リーフレット折込手数料 13,500 口座振込2件 324
使用料及び賃借料	109,000	保険料 神武伝承地現地講座 9,000 借上料 神武伝承地現地講座バス 54,500円×2台 109,000
合 計	330,519	

事業実施団体

名称	宇陀市の神話を考える会
所在地	宇陀市菟田野岩崎21-13
設立の経緯・目的	宇陀に伝わる記紀万葉発祥地から、神武天皇や、市を代表する宇太水分神社・阿紀神社・墨坂神社・室生寺など、多くの神社仏閣が建立されており、又数々の民話や伝説が残っている。こうした歴史的文化を探求することで、宇陀市のまちづくりに寄与することを目的として設立された。
主な活動内容	<p>1. 平成24年 7月23日「宇陀の神話を考える会」発足式及び記念講演 講師：宇陀市教育委員会 柳澤 一宏氏 参加者 59名</p> <p>2. 平成24年11月28日「宇陀市神話を語るフォーラム」開催 講師：和田 萃氏 参加者 400名</p> <p>3. 平成24年12月 9日（日）「大宇陀重伝建のまちなみ視察」開催 案内：大宇陀ボランティアガイド 参加者 40名</p> <p>4. 宇陀市の神武伝承地を探り巡る事業の開催 （平成25年度 宇陀市まちづくり活動応援補助金交付事業）</p> <p>①神武伝承地講演会（平成25年8月4日） 参加者 述べ129名 第1部 「親子古事記講座」語り部：宇陀市立図書館 堀山容志子氏 第2部 講演「神武の足跡」講師：皇學館大学教授 岡田 登氏</p> <p>②神武伝承地現地講座（平成25年9月29日） 参加者 57名 菟田野・大宇陀地域における神武伝承地をバスとハイキングで巡り、現地講座を開設</p>

事業報告書

事業名	宇陀に若い力を。大学生インターンの受入れと新規事業の立ち上げ。
実施団体	ウダカツ
実施状況	<p>平成27年3月に第三期インターン（東京工業大学2回生）の受け入れをおこなった。活動期間中の宿泊やプログラムはウダカツメンバーの自宅でホームステイ形式で行っている。新規事業プランの立ち上げを第二期のインターン学生によって実施した。「究極のウダカツ丼を作ろう！」と題して、宇陀をめぐるスタディツアー（2月27日～3月2日）を開催し、5つの大学から計14名が参加するに至った。スタディツアー終了後より第三期インターンがスタートし、新規事業として、ウダカツ部の創設と関東圏での宇陀PRプロジェクトがスタートする予定である。</p> <p>【事業実施の様子】</p> 
事業効果	<p>イベントのお手伝いや祭り事への参加などにも積極的に参加することで住民との交流が生まれ、ウダカツの活動へ賛同する人が現れ始めた。</p> <p>宇陀の事業者や施設など、普段つながりのない個人が学生のインターン受け入れを行うことで横の繋がりができ、さらに宇陀について主体的な議論に発展した。</p> <p>宇陀を舞台に複数大学の学生コミュニティが構築され、さらにその中から継続して宇陀に関わる学生が現れ始めた。</p>
特記事項	

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	400,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
会費	32,810	
合 計	432,810	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
委託料	100,000	インターンシップコーディネート費用
委託料	100,000	HPデザイン費用
報償費	70,000	うだ夢創の里、奈良県立大学 石川先生
印刷製本費	50,000	チラシ印刷代
使用料及び賃借料	92,810	バス賃借料
使用料及び賃借料	20,000	サーバーレンタル費用
合 計	432,810	

事業実施団体

名称	ウダカツ
所在地	宇陀市榛原比布1312番地
設立の経緯・目的	大学生インターンシップを受け入れるため、市内在住者4名で立ち上げた団体。宇陀市内外の交流人口増加と活性化を図ることを目的とする。
主な活動内容	夏期、春期の大学生インターンシップの受け入れと、その報告会